

THE HIKAWA TIMES

令和6年4月5日
第98号
発行：進路指導係

令和6年度入試 日川高校進路状況総括

国公立大学57名 私立大学271名

山梨大 ②6

都留文科大 ⑦

山梨県立大 ⑦

宇都宮大 ①

信州大 ③

静岡大 ③

東京都立大 ①

秋田県立大 ②

神奈川県立保健福祉大 ①

諏訪東京理科大 ③

合格校 (抜粋)
過年度生を含む

【国立】

宇都宮大 1名

静岡大 3名

長野大 2名

信州大 3名

山梨県立大 7名

東京都立大 1名

山梨大 26名

都留文科大 7名

信州大 3名

信州大 1名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

信州大 2名

難関突破！その秘訣

山梨大学 医学部 医学科

私が受験を通して考えたことや、実践してきたことを書きたいと思っています。参考程度に聞いてください。私は部活動が少なく勉強時間は多く確保することができました。SSS活動で東京大学を訪問した二年の夏休み以降は平日五時間以上、三年になってからは平日七、八時間程度でした。勉強が嫌いだった私は、二年の時に自分の得意な科目(数物化)、英単語を中心に勉強をしていました。まず何よりも重要なことは勉強の習慣をつけることです。私はどんな日でも深夜十二時まで勉強することにしています(東大に行つた日の翌日のサタデーサブリに寝坊したのは秘密)。このように勉強の習慣を確立させていたからこそ受験期を乗り越えられたと思います。私が受験に取り組むうえで意識してきたことは二つあり、一つ目は「基礎」の徹底です。私が思う基礎は、数学や物理だったら「公式」を使える状況、「+」公式の理解、英語や化学なら暗記です。基礎ができていないのに問題を解くことや「応用」をすることはできません。二つ目は、自分の力を分かつたうえで勉強の計画を立てることです。受験は総合得点勝負なので総合八割でも、私のように文系六割半理系九割半でもいいわけです。すべての科目を完璧にする必要はないし、私の場合二次試験で使う理系科目の勉強に力を入れました。最後に私が受験を通して感じたことや大切だと思ったことは、まず楽しく勉強をすることです。科学者の講義や勝負、特に人に教えて理解してもらえることが何よりも嬉しく個人的に最もやる気につながりました。次に、とにかく勉強をすることです。私自身将来の夢がない時期から勉強を始めました。勉強をすることで大学や生き方の選択肢が広がります。私は勉強を

山梨県立大学 国際コミュニケーション学科

やり始めて、医学部を目指し始めて高一からやっておけばよかったと後悔しました。是非皆さんは高一、二日からと言わず後悔しないよう勉強に励んでほしいです。受験体験記を書くにあたり、受験を振り返ってみて私が「事だ」と感じたことを書いていきます。少しでも誰かの参考になれば幸いです。勉強が大切だと思つていました。受験勉強で大切だと思つたことは二つあります。一つ目は時間の管理です。具体的には勉強をする時にタイマーをセットしました。それだけでやる気が出ない時にとりあえずタイマーを動かすと勉強せざるを得ない気がして勉強を始めるときにつけられるし、休憩しようというタイマーを止めた時に自分の頑張りが数字で分かるモチベーションにもなります。二つ目は自己分析です。自分の得意不得意な教科が分かれば自分に適した勉強方法や受験方法を考えられます。ここでの注意点は点が取れない「苦手」ではないということです。私が模試を受け

令和六年度入試を振り返って

昨年度は国公立大学に五十七名の合格を輩出しました。県内大学では山梨大に二十六名、山梨県立大に七名、都留文科大に七名合格というように、ここ数年続く地元大学への進学が目立ちました。近県では東京都立大一名、信州大三名や静岡大三名、公立諏訪東京理科大三名、長野大に二名合格しています。また、秋田県立大や宇都宮大など東北や北関東での合格も出ています。私立大学への合格は、国際基督教大や明治学院大、芝浦工大、成蹊大、法政大等二百七十一名が合格しました。過年度生も山梨大や杏林大等に合格し進学を決めています。

先輩方の体験談を参考に、今日から学習と生活の質・量の双方を高め、目標実現に近づいてほしいと思います。

昨年度の大学入試は「大学入

(進路指導主事 紺野英)